

2学期を終えて～成長しました～ まだまだ伸びる、だから今の自分をみつめよう

本日、令和5年度の2学期終業式を行いました。始業式の時に「**2学期はつなぎ、つなぐの時**」と話しました。今学期は、体育祭、文化祭、修学旅行、松江自主研修、職場体験等の大きな行事が続きました。また、授業も進み、難しくなったと感じることが多くなってきたかもしれません。自分の思いのおりにいかなかったり、思いが表現できなかったり、悩みを抱えることもあったと思います。しかし、「相手の思いを知る、自分の考えを伝える、お互いにわかり合う」このことを意識できた姿がありました。「人とつながる楽しさ、大切さ」を感じた学期であったと思います。特に体育祭・文化祭において見せてくれた一瞬にかけてつながっていく姿は、本当に見事でした。しかし、健康状態等から、行事等への参加がなかった人もいます。この姿も私は成長の形だと考えます。自分で悩み考え決め、そして受けとめているからです。

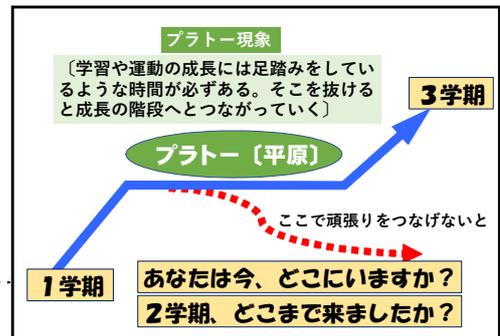
さて、始業式ではプラトー現象という話をしました。2学期はこのプラトーををねばってぬけていく時。ねばっていかないと3学期にはつながらない。」そこで、**一人一人に問いかけます。「あなたは今どこにいますか。」**長い2学期を終え、しめくりの3学期に向かうにあたり、自分の今をとらえてほしいと思います。

- ① **人とのつながりを深めるために「あなたは自分と人のよいところをさがしましたか。」**
- ② **『あいさつ・そうじ・ありがとう』人から信頼され応援される行動を重ねましたか。」**
- ③ **自分の将来を大切にするために「苦手な教科でも毎日の授業を大切にしてくださいましたか。」**

☆1年生は、明るさ、前向きさを継続してもっていて、愛される学年です。また、初めての合唱コンクールに恥ずかしさや不安と戦いながら挑戦していく姿勢が見事でした。

☆2年生は、時間厳守や話をきちんと聞くこと等、あたり前のことを大切に行動しようとしていました。リーダーになる自覚が芽生えてきて、成長いちじるしい頼もしい学年です。

☆3年生は、体育祭、文化祭において、後輩たちを大切にしてくれました。集団で行動することの難しさを越える楽しさを後輩たちに見せてくれたこと、感謝しています。次は自分の進路実現に向けて、最後まで頑張り。



3年生ラジオ公開収録に参加 11月24日

本校の卒業生である近藤夏子さんがパーソナリティーをしておられる番組の収録が体育館でありました。企画段階から参加させてもらったり、積極的に質問に答えたりと3年生は充実した時間を過ごしました。音響やプロデュースの方なども来られ、様々な職種があることを学んだ時間でもありました。



人権教育講演会・人権集会より

12月15日に「人権教育講演会・人権集会」を行いました。まずはじめに「ぼくたちのサイン～難聴のエースと仲間たち 最後の夏～」を見ました。これは、奈良県から益田東高校に入学した全く耳が聞こえないエース(広中蒼磨さん)が、甲子園をめざした日々を追いかけたものです。危ないと言われても、監督が指示を叫んでもエースには届きません。また、広中さんは、音で言葉を覚えることができないため、伝えたいことがあっても正しく発音できず、「オー、オー」という音になってしまいます。そこで、チームみんなで覚えた「指文字」。時間がかかってもみんなでコミュニケーションをとり、つながっていきました。人権集会には、この時の監督である大庭先生と広中さん自身も来ていただきました。大庭先生は、「人はそれぞれに違うもの。違うからこそよい。ないものを教えるより、残っているものを最大限に生かせ。耳が聞こえなくても自分には他にたくさんある。人間、考え方で生き方が大きく変わる。」と広中さんから教えられたと話されました。また、広中さんは小学校時代に受け入れてくれる野球チームがなかったので、ある日、勝手に練習に参加し、チームに入ったそうです。でも、野球はさせてもらえず、見ているだけの時間がずっと流れたそうです。それでも野球をやめなかった。この話を聞いて「なぜあきらめないでいられるのか」との質問があり、すると「あきらめたら終わり、何も始まらないから。」と指文字で答えられました。また、耳が聞こえなくてよかったこととして「人の悪口が聞こえないこと」と言われました。



集中して話を聞き取ろうとする姿、まだまだ質問して考えようとする姿がたくさんありました。そして最後に生徒会執行部より「大田一中人権宣言」が発表されました。

大田一中人権宣言

人を大切にするということは、誰もが安心して楽しく過ごせるようにすることだと思います。
そのために、私たち一中学生は、一人一人の個性を尊重し、違いを認め合っていくことが大事です。

大田一中人権宣言

今年の生徒会スローガン「輝笑転結」の「結」には、絆を深めるという意味を込めています。

大田一中人権宣言

学級や学年の仲間、そして大田一中に関わってくださる、たくさんの人の違いを認め合いながら、みんなが幸せに、そして笑顔で暮らせるようにしていきましょう。

活躍の様子

※敬称略

【鈴木賞・全島根図画作品展大田審査会】

☆鈴木賞とは、大田市出身の画家、鈴木寛男先生にちなんだ賞です。大田市の子どものたちの作品の中から選ばれ、一層絵に親しみをもつことを願って設けられた賞です。

【全島根図画作品展】 ○特選

○入選

ホームページ上では、生徒の個人名の記載は控えています

【ライオンズ国際協会平和ポスターコンクール】 ○入賞

☆ジュニアオリンピックカップ全国都道府県対抗中学校バレーボール大会(大阪 12/25~28)に県代表選手として さん(3年)が出場します。応援よろしくお祈いします。

応援ありがとうございました本日、長い2学期を終えました。ご心配をおかけすることも多かったと思いますが、応援いただきありがとうございました。年末、年始はぜひ生徒たちに手伝いをさせてやってください。新学期もよろしくお祈いします。よいお年をお過ごしください。

1年生福祉教育～高齢者疑似体験～

